

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	財満 和音
主な担当科目	ピアノ教養特論Ⅱ,副科グループレッスン,ピアノ
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	現代のスタイルや文化を踏まえた上で、各生徒の家庭情報や習慣の知識を常に取り入れながらクラシック音楽、音楽教養の修学の手助けをしたい。
2024年の教育に関する自己評価	自分の海外での体験をもとに様々な文化、感覚を持つ生徒に寄り添い、また新しい経験をしながら生徒の学びの手助けができたと思う。
2024年のFD活動に関する自己評価	可能な限り毎回参加し、他のコースの先生方との交流もできたと思う。特に「大学における異文化コミュニケーションワークショップ」の講師の先生のお話が大変興味深く、海外での自分の経験も発言でき問題提起などできたと思う。
授業改善のために取り入れた研修内容	鍵盤楽器部会FD研修会でも毎回話題になる留学生に対するレッスンやコミュニケーションの取り方など、「決して否定せず話そうとしていることを待つ」ということを試みている。また中国の中でも出身地によって気質が違うということなど、性格を知る上で手立てになると思い取り入れた。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:3344 教員名:財満 和音

1)アンケート結果に対する所見

授業、レッスンに関して概ね満足度は高く、指導法、内容に常に興味を向けている学生が多いことがわかり嬉しく感じた。授業ではコミュニケーション力、実践力などが高めることができなかったと感じる学生が多く、レッスンでは逆に実践力がついたが多様性理解、やはりコミュニケーション力がもう少しと感じる生徒がいることがわかり、今後の指導のポイントになろうかと思う。

2)要望への対応・改善方策

授業では担当教員の一方的な話だけにならないように配慮することと、コミュニケーションを意識した授業の構成を考えていかななくてはと考える。一方、個人的なレッスンではそれぞれの学生の個性に合った指導を望まれているため、やはりコミュニケーションを重要に考える。言葉のやり取りにより精神的な状態を知ることにも必要と考えた。

3)今後の課題

音楽大学生が卒業後に就職する企業の求めていることに、まずコミュニケーション力がもっと欲しい、という要望が上がるということを先日知ったところで、このアンケート結果について考えた。話をすると相手の考えが見えてくるものでもあり、自分も変わっていくきっかけにもなる。1人で演奏するピアノの学生だからコミュニケーション力が足りない、と言われたいように実践力をつけるための指導をしていきたいと思う。

以 上